

平成 29 年 8 月の熱中症による救急搬送状況

熱中症による救急搬送人員数について、平成 29 年 8 月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

概 要

- 平成 29 年 8 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 17,302 人でした。これは、昨年 8 月の救急搬送人員数 21,383 人と比べると 4,081 人少なくなっています。平成 29 年 5 月から 8 月までの熱中症による救急搬送人員数は、50,886 人でした。これは昨年の同時期の救急搬送人員数 46,400 人と比べると 4,486 人多くなっています。
- 全国の熱中症による救急搬送状況の年齢区分別、傷病程度別の内訳等については次のとおりです。
 - 救急搬送人員数の年齢区分では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。
 - 搬送された医療機関での初診時における傷病程度をみると、軽症が最も多く、次いで中等症、重症の順となっています。
 - 発生場所ごとの救急搬送人員数をみると、住居が最も多く、次いで道路、公衆(屋外)、仕事場①の順となっています。
 - ※公衆(屋外)とは、不特定者が出入りする場所の屋外部分
 - ※仕事場①とは、道路工事現場、工場、作業所等
 - 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数は、鹿児島県が最も多く、次いで高知県、沖縄県の順となっています。

- 熱中症は正しい知識を身につけ、適切に予防することで、未然に防ぐことが可能です。引続き厳しい暑さが続く可能性がありますので、予防対策として、日陰や涼しいところで休憩をとること、こまめに水分補給を行うこと、屋外では帽子をかぶることなどに心がけてください。
- 消防庁では、熱中症予防啓発のコンテンツとして、「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」「予防啓発取組事例集」を消防庁 HP 熱中症情報サイトに掲載しています。今年度は、全国消防イメージキャラクターの「消太」を活用した熱中症予防を呼びかけるポスターを作成しました。全国の消防機関をはじめ、熱中症予防を啓発する関係機関にも御活用いただけるよう、以下の消防庁 HP にコンテンツを掲載していますので、是非御活用ください。
消防庁 HP『熱中症情報』 http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

【資料】平成29年8月の熱中症による救急搬送状況

周囲の人にも気配りを



(連絡先)

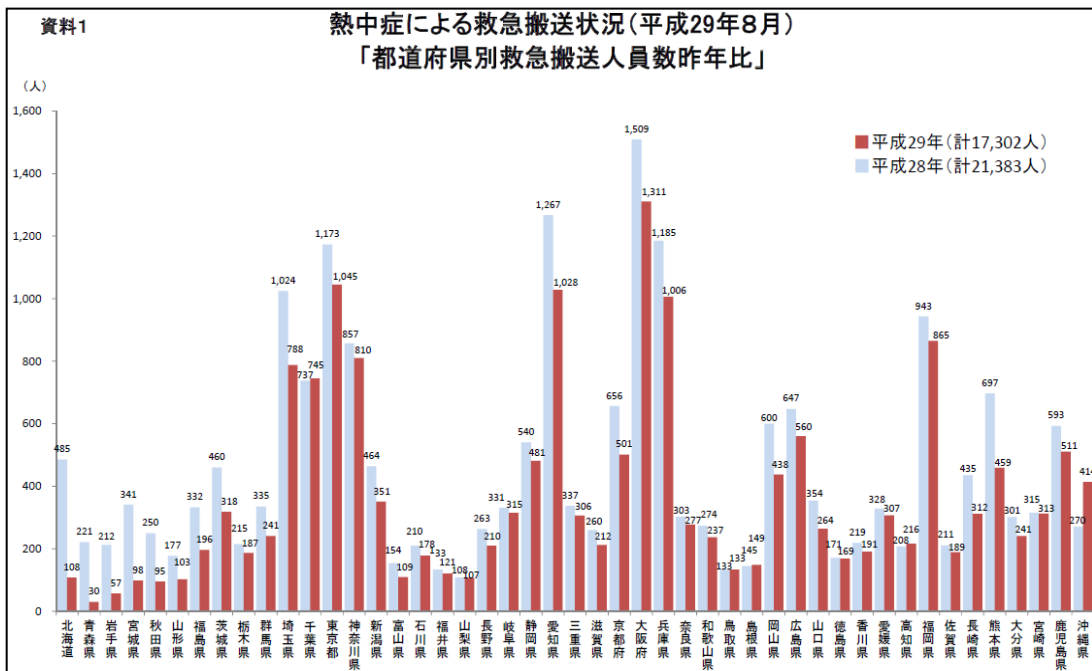
消防庁救急企画室
担当：森川、小川、中西
電話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532

平成29年8月の熱中症による救急搬送状況の概要

平成29年8月の熱中症による救急搬送状況について調査を行ったところ、その概要は以下のとおりでした。

1 総数

平成29年8月の全国における熱中症による救急搬送人員数は17,302人でした。これは、昨年8月の救急搬送人員数21,383人と比べると4,081人少なくなっています。(資料1、2、4、5、6、8)



平成29年5月から8月までの熱中症による救急搬送人員数は、50,886人でした。これは昨年の同時期の救急搬送人員数46,400人と比べると4,486人多くなっています。(資料8)

資料8 平成23年～29年の熱中症による救急搬送人員数及び死亡者数一覧 (単位:人)

	平成29年(2017)		平成28年(2016)		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)	
	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
	5月	3,401	2	2,788	1	2,904	3	調査データなし						
6月	3,481	1	3,558	3	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14
7月	26,702	31	18,671	29	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29
8月	17,302	14	21,383	24	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27
9月			4,012	2	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3
5月から8月までの搬送人員数合計(同時期比較)	50,886	48	46,400	57	54,428	104								
搬送人員数合計	50,886	48	50,412	59	55,852	105	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73

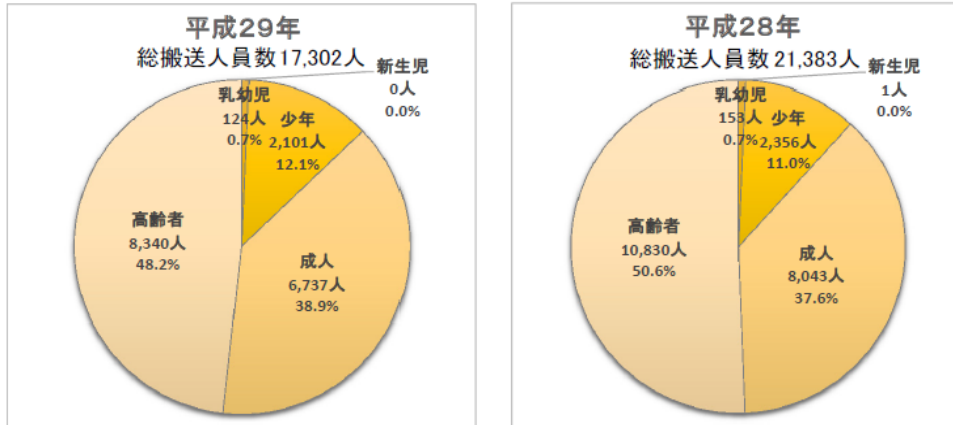
※平成29年は5月1日から調査を開始

2 内 訳

(1) 年齢区分ごとの救急搬送人員数

高齢者（満65歳以上）が8,340人（48.2%）、次いで成人（満18歳以上満65歳未満）6,737人（38.9%）、少年（満7歳以上満18歳未満）2,101人（12.1%）、乳幼児（生後28日以上満7歳未満）124人（0.7%）の順となっています。
（資料2、5-1、6-1）

熱中症救急搬送人員数 年齢区分（構成比）

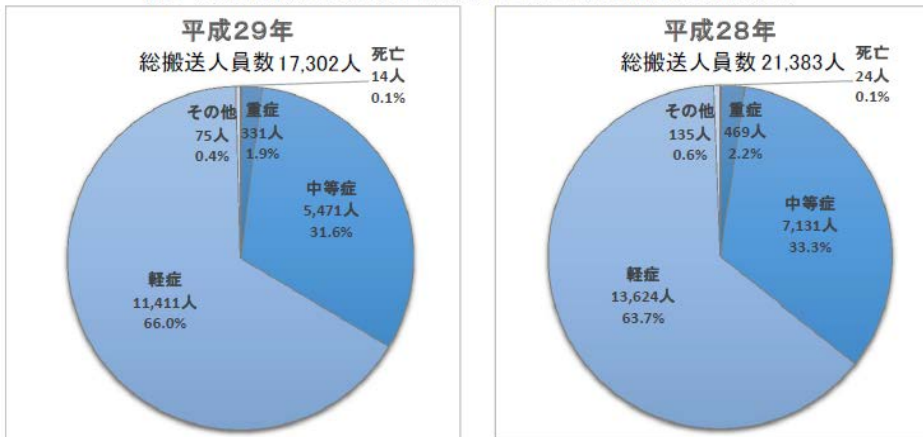


新生児：生後28日未満の者
乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
少年：満7歳以上18歳未満の者
成人：満18歳以上65歳未満の者
高齢者：満65歳以上の者

(2) 医療機関での初診時における傷病程度ごとの救急搬送人員数

軽症（外来診療）が最も多く11,411人（66.0%）、次いで中等症（入院診療）5,471人（31.6%）、重症（長期入院）331人（1.9%）の順となっています。
（資料2、5-1、6-1）

熱中症救急搬送人員数 初診時における傷病程度（構成比）



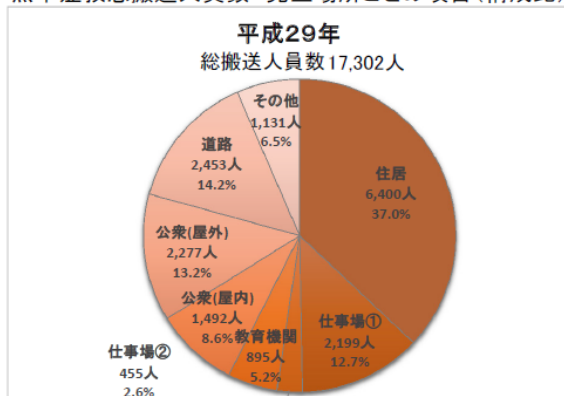
死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
重 症 (長期入院) 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中 等 症 (入院診療) 傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症 (外来診療) 傷病程度が入院加療を必要としないもの
そ の 他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの
※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

(3) 発生場所ごとの救急搬送人員数

住居が最も多く6,400人（37.0%）、次いで道路2,453人（14.2%）、公衆（屋外）2,277人（13.2%）、仕事場①2,199人（12.7%）の順となっています。
（資料2、5-2、6-2）

※公衆（屋外）とは、不特定者が出入りする場所の屋外部分
※仕事場①とは、道路工事現場、工場、作業所等

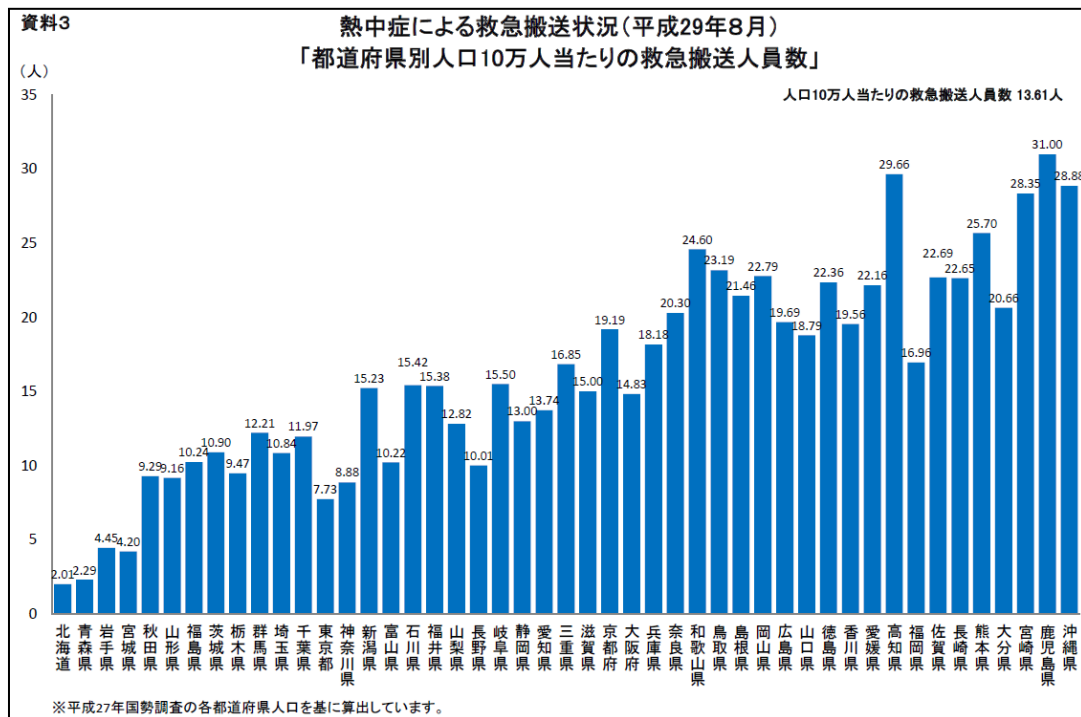
熱中症救急搬送人員数 発生場所ごとの項目（構成比）



住居 (敷地内全ての場所を含む)
仕事場① (道路工事現場、工場、作業所等)
仕事場② (田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)
教育機関 (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
公衆(屋内) 不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)
公衆(屋外) 不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)
道路 (一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
その他 (上記に該当しない項目)

(4) 都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数

鹿児島県が最も多く31.00人であり、次いで高知県29.66人、沖縄県28.88人、宮崎県28.35人、熊本県25.70人の順となっています。(資料3、7)



【注意事項】

○ 熱中症は正しい知識を身につけ、適切に予防することで、未然に防ぐことが可能です。引続き、厳しい暑さが続く可能性がありますので、予防対策として、以下の項目に心がけてください。

- ・日陰や涼しいところで休憩をとりましょう。
- ・こまめに水分補給を行いましょ。
- ・屋外では帽子をかぶりましょ。

○ 消防庁では、熱中症予防啓発のコンテンツとして、「予防啓発ビデオ」「予防啓発イラスト」「予防広報メッセージ」「予防啓発取組事例集」を消防庁 HP 熱中症情報サイトで掲載しています。今年度は、全国消防イメージキャラクター「消太」を活用した熱中症予防を呼びかけるポスターを作成しました。

全国の消防機関をはじめ、熱中症予防を啓発する関係機関にも御活用いただけるよう、以下の消防庁 HP にコンテンツを掲載していますので、是非御活用ください。

消防庁 HP 『熱中症情報』

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

【参 考】

- 気象庁「8月の天候」より抜粋
2017年（平成29年）8月の天候の特徴は以下のとおりです。
 - ・ 沖縄・奄美では気温がかなり高く、日照時間がかなり多かった
沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、月平均気温はかなり高く、月間日照時間はかなり多かった。沖縄・奄美の月平均気温平年差は+1.4℃で、1946年の統計開始以来の8月として1位の高い記録となった。
 - ・ 北・東日本太平洋側ではオホーツク海高気圧の影響で日照時間がかなり少なかった
上旬から中旬にオホーツク海高気圧が出現したため、北・東日本太平洋側では北東から冷たく湿った空気が入りやすく、月間日照時間はかなり少なかった。
 - ・ 東日本日本海側では降水量がかなり多かった
東日本日本海側では、気圧の谷や湿った気流の影響を受けやすく、また台風第5号の影響を受けたため、月降水量はかなり多かった。
参照 URL : <http://www.jma.go.jp/jma/press/1709/01a/tenko1708.html>

- 気象庁「向こう1か月の天候の見通し（9月16日～10月15日）」によれば、
 - ・ 北日本は暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高く、期間の前半は気温がかなり高い所があるようです。また、期間のはじめを中心に湿った空気や前線の影響を受けやすく、向こう1か月の降水量は平年並か多いようです。
 - ・ 東日本では、期間のはじめを中心に湿った空気や前線の影響を受けやすく、向こう1か月の降水量は平年並か多いようです。
 - ・ 西日本では、期間のはじめを中心に湿った空気や前線の影響を受けやすく、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は平年並か少ないようです。
 - ・ 沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすく、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いようです。また、向こう1か月の気温は高く、期間の前半は気温がかなり高い状態が続くようです。
参照 URL : <http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/pdf/pdf1/001.pdf>

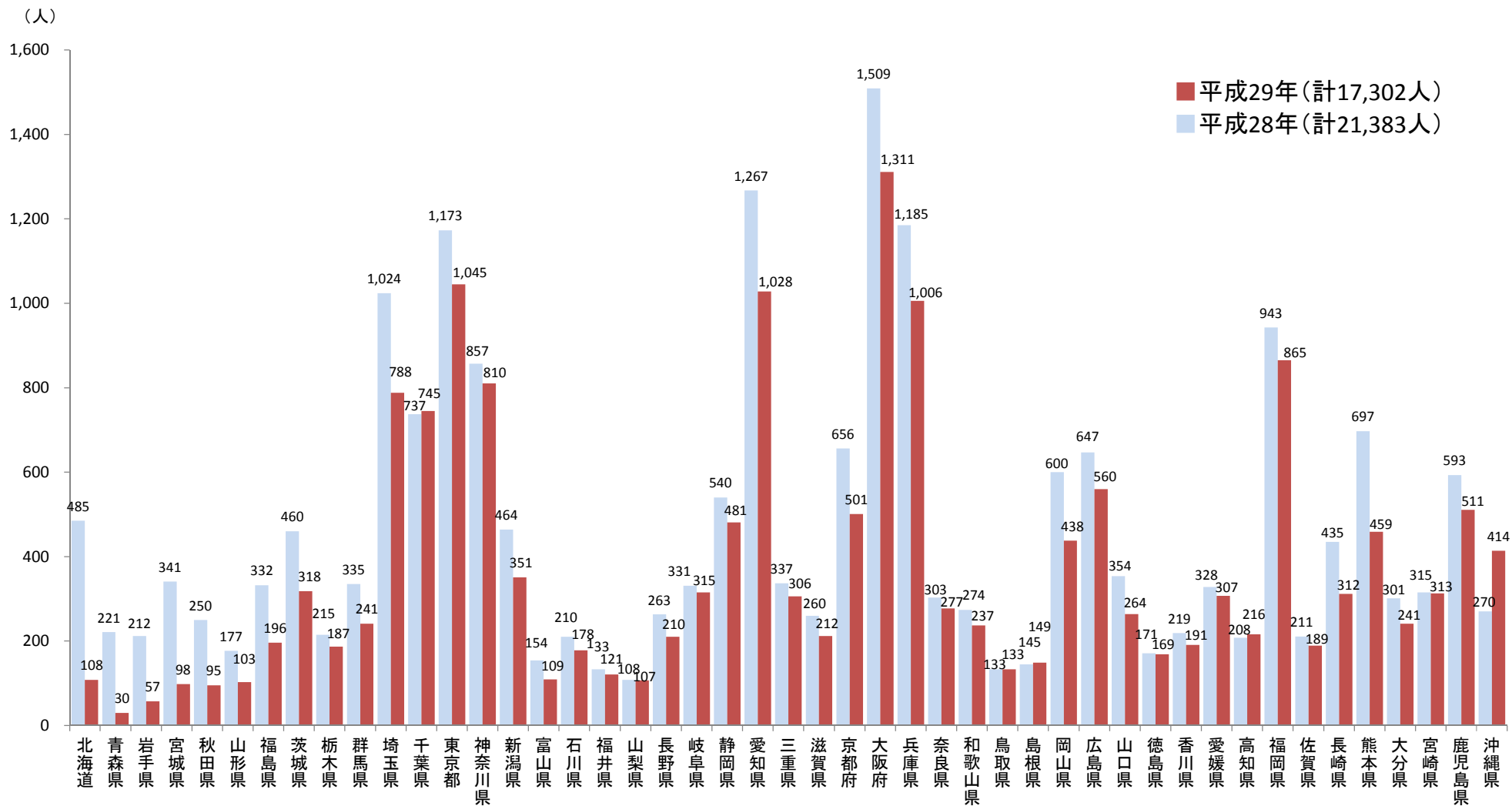
- 暑さ指数（WBGT）と救急搬送人員数とのデータ比較
暑さ指数と救急搬送人員数との関係について調査をするため、東京都、愛知県、大阪府で両者のデータの比較を表示しています。（参考資料）

平成 29 年 8 月の熱中症による救急搬送状況

- 資料 1 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 8 月）
「都道府県別救急搬送人員数昨年比」（グラフ）
- 資料 2 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 8 月）
「年齢区分別（構成比）、初診時における傷病程度別（構成比）、発生場所ごとの項目別（構成比）」（グラフ）
- 資料 3 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 8 月）
「都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数」（グラフ）
- 資料 4 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年）
「調査開始から各週ごとの比較」（グラフ）
- 資料 5 - 1 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 8 月）
「都道府県別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」（表）
- 資料 5 - 2 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 8 月）
「都道府県別の発生場所別救急搬送人員数」（表）
- 資料 6 - 1 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 8 月）
「日別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」（表）
- 資料 6 - 2 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 8 月）
「日別の発生場所別救急搬送人員数」（表）
- 資料 7 熱中症による救急搬送状況（平成 29 年 8 月）
「都道府県別人口 10 万人当たりの救急搬送人員数」（表）
- 資料 8 平成 23 年～29 年の熱中症による救急搬送人員数及び死亡者数一覧(表)
- 参考資料 主な都道府県の日別の救急搬送人員数と暑さ指数（WBGT）データとの比較
（平成 29 年 5～8 月）（グラフ）

資料1

熱中症による救急搬送状況(平成29年8月) 「都道府県別救急搬送人員数昨年比」

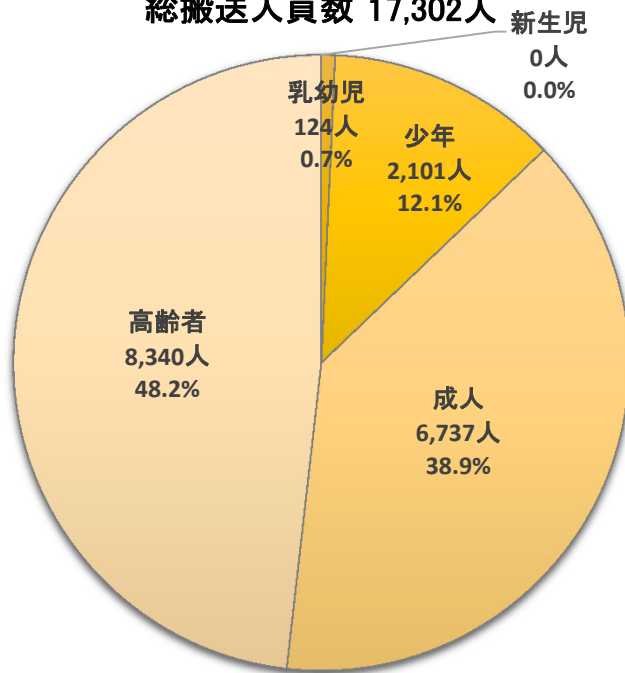


熱中症による救急搬送状況(平成29年8月)

「年齢区分別(構成比)、初診時における傷病程度別(構成比)、発生場所ごとの項目別(構成比)」

年齢区分(構成比)

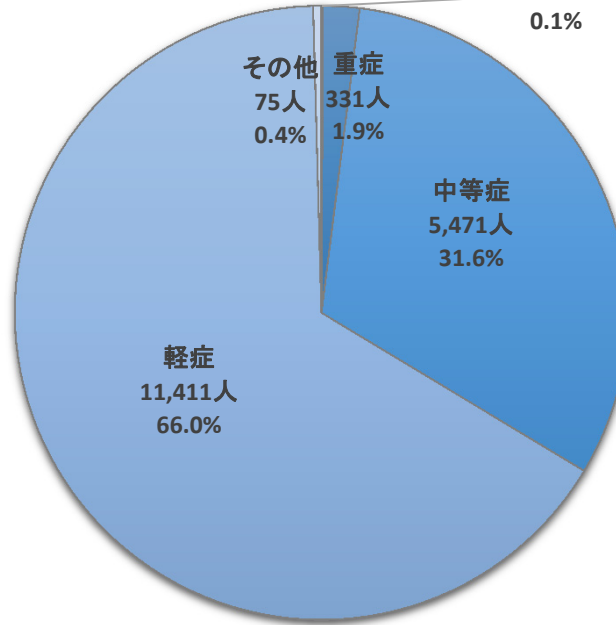
総搬送人員数 17,302人



初診時における傷病程度(構成比)

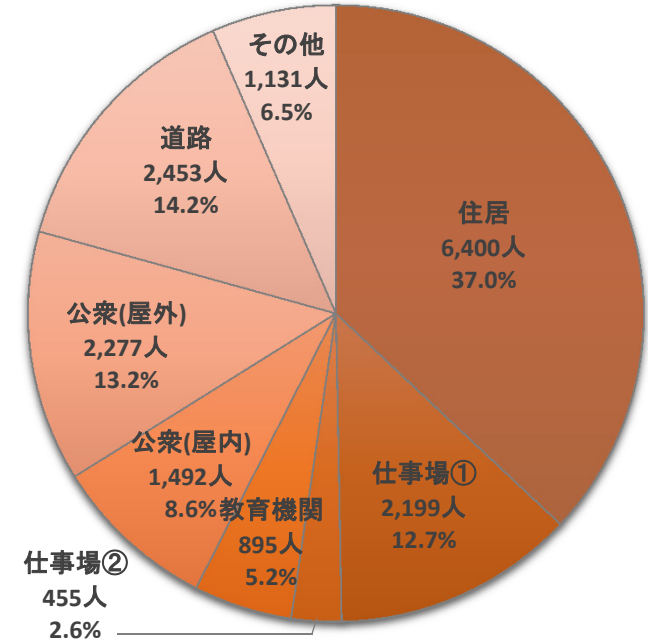
総搬送人員数 17,302人

死亡 14人
0.1%



発生場所ごとの項目(構成比)

総搬送人員数 17,302人



新生児：生後 28 日未満の者
乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者
少年：満 7 歳以上 18 歳未満の者
成人：満 18 歳以上 65 歳未満の者
高齢者：満 65 歳以上の者

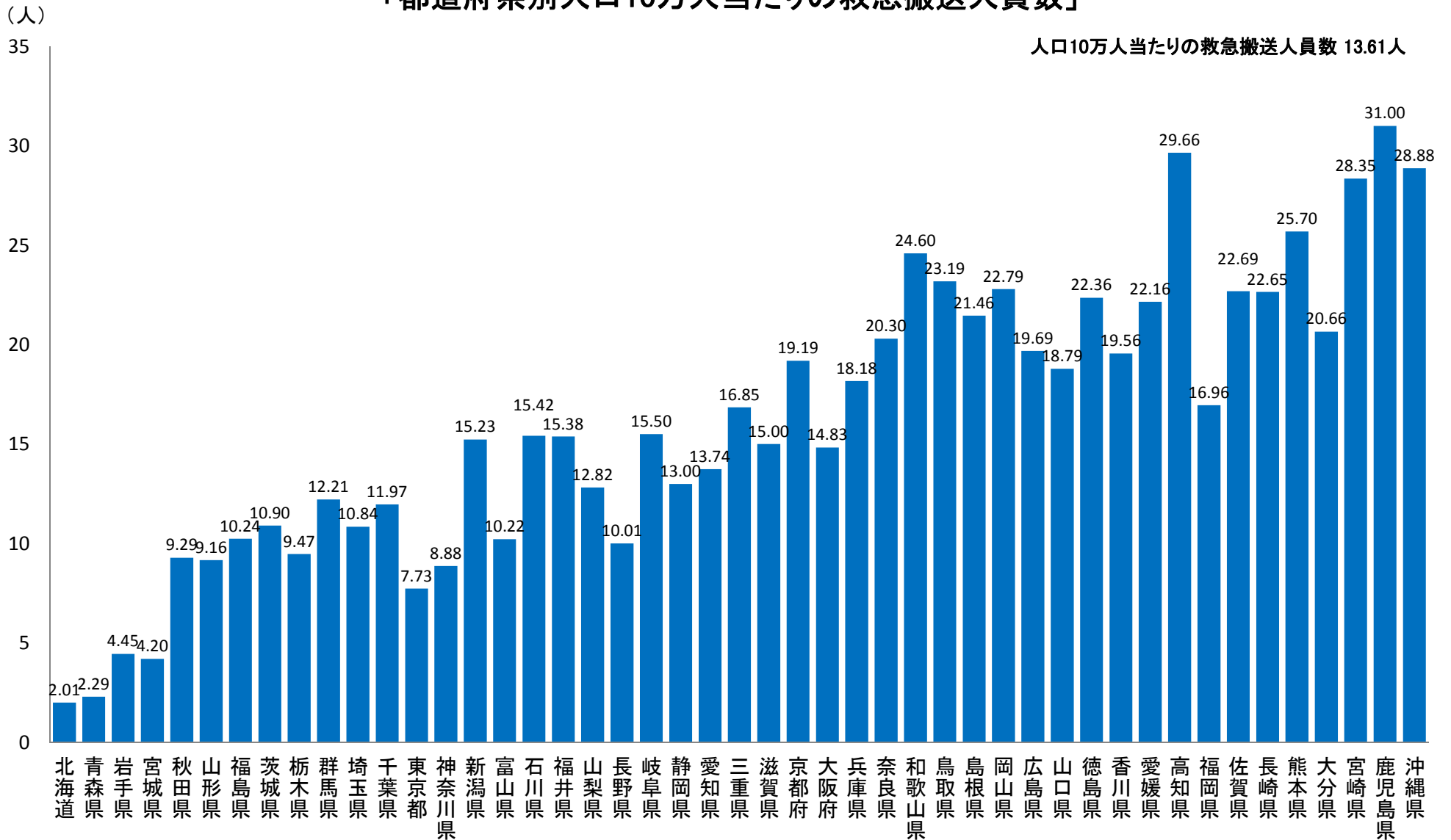
死亡 初診時において死亡が確認されたもの
重症 (長期入院) 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症 (入院診療) 傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽症 (外来診療) 傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの
※なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、軽症の中には早期に病院での治療が必要だった者や通院による治療が必要だった者も含まれる。

住居 (敷地内全ての場所を含む)
仕事場① (道路工事現場、工場、作業所等)
仕事場② (田畑、森林、海、川等 ※農・畜・水産作業を行っている場合のみ)
教育機関 (幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等)
公衆(屋内) 不特定者が出入りする場所の屋内部分 (劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅(地下ホーム)等)
公衆(屋外) 不特定者が出入りする場所の屋外部分 (競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅(屋外ホーム)等)
道路 (一般道路、歩道、有料道路、高速道路等)
その他 (上記に該当しない項目)

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料3

熱中症による救急搬送状況(平成29年8月)
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数」



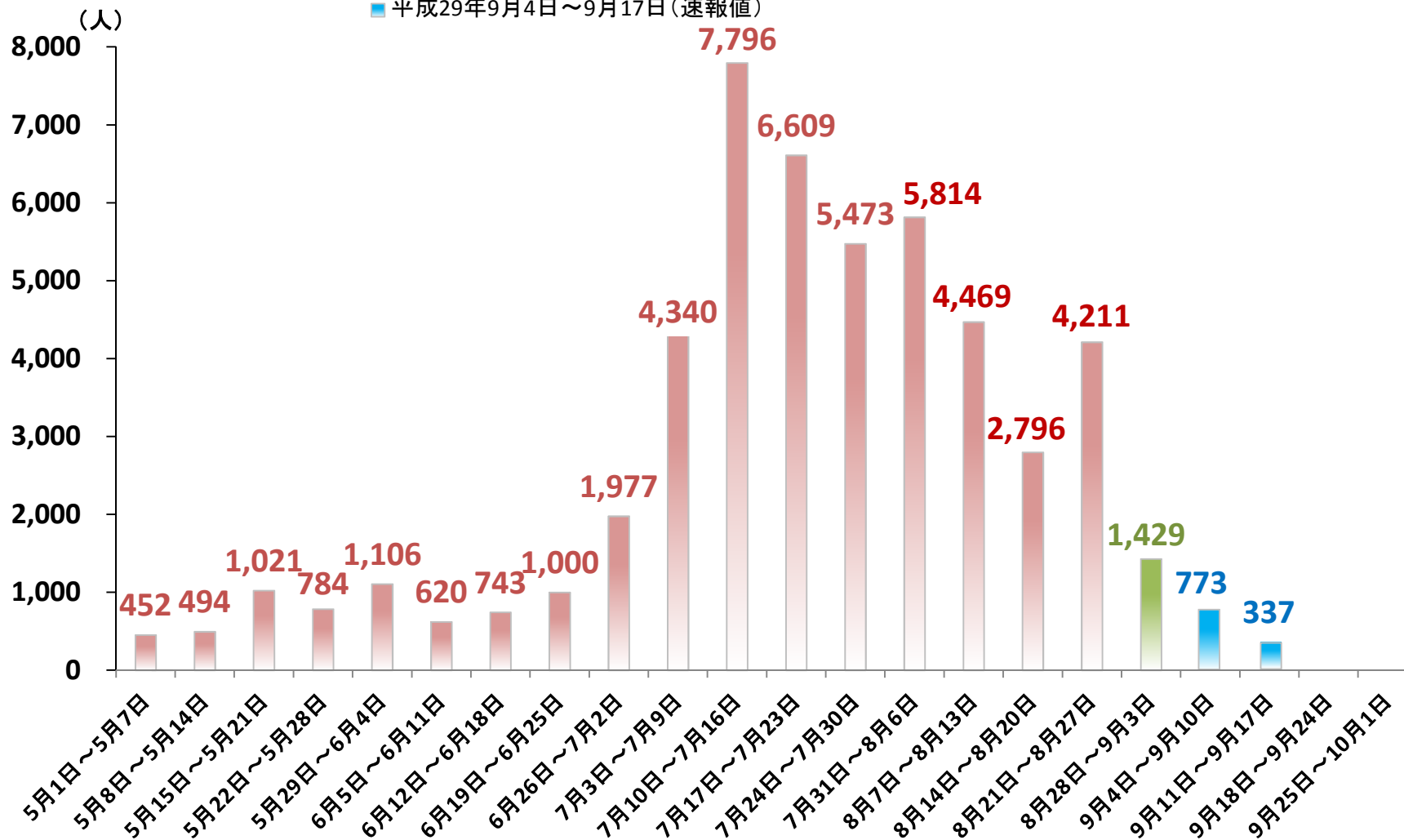
※平成27年国勢調査の各都道府県人口を基に算出しています。

熱中症による救急搬送状況(平成29年)

「調査開始から各週ごとの比較」

資料4

- 平成29年5月1日～8月27日(確定値)
- 平成29年8月28日～8月31日(確定値), 平成29年9月1日～9月3日(速報値)
- 平成29年9月4日～9月17日(速報値)



* 速報値(緑、青)の救急搬送人員数は、後日修正されることもありますのでご了承ください。

熱中症による救急搬送状況(平成29年8月)
「都道府県別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」

都道府県		平成29年8月1日～8月31日											
		年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	2	11	35	60	108	0	3	33	70	2	108
2	青森県	0	0	1	8	21	30	0	0	10	20	0	30
3	岩手県	0	1	8	15	33	57	0	2	21	34	0	57
4	宮城県	0	1	15	38	44	98	0	5	44	49	0	98
5	秋田県	0	0	14	30	51	95	0	4	24	66	1	95
6	山形県	0	1	23	25	54	103	1	3	36	63	0	103
7	福島県	0	0	19	77	100	196	0	4	49	143	0	196
8	茨城県	0	3	43	132	140	318	0	3	142	173	0	318
9	栃木県	0	1	16	72	98	187	0	2	74	111	0	187
10	群馬県	0	5	41	79	116	241	1	9	81	150	0	241
11	埼玉県	0	6	98	336	348	788	0	18	211	559	0	788
12	千葉県	0	2	82	334	327	745	0	9	297	439	0	745
13	東京都	0	8	102	459	476	1,045	0	22	370	653	0	1,045
14	神奈川県	0	7	103	373	327	810	0	20	307	483	0	810
15	新潟県	0	5	36	119	191	351	1	12	92	246	0	351
16	富山県	0	1	15	31	62	109	0	4	29	76	0	109
17	石川県	0	2	16	81	79	178	0	4	44	130	0	178
18	福井県	0	3	14	43	61	121	1	3	48	68	1	121
19	山梨県	0	0	19	33	55	107	0	6	35	66	0	107
20	長野県	0	0	26	66	118	210	0	2	83	125	0	210
21	岐阜県	0	2	50	113	150	315	0	6	132	177	0	315
22	静岡県	0	6	65	206	204	481	1	8	122	350	0	481
23	愛知県	0	10	119	426	473	1,028	1	9	224	794	0	1,028
24	三重県	0	2	28	118	158	306	0	3	51	218	34	306
25	滋賀県	0	2	41	77	92	212	0	2	42	167	1	212
26	京都府	0	3	67	190	241	501	0	4	96	401	0	501
27	大阪府	0	7	168	535	601	1,311	1	7	306	997	0	1,311
28	兵庫県	0	8	134	329	535	1,006	1	12	277	716	0	1,006
29	奈良県	0	2	45	101	129	277	0	4	75	198	0	277
30	和歌山県	0	0	28	111	98	237	0	4	40	193	0	237
31	鳥取県	0	2	18	31	82	133	0	3	70	60	0	133
32	島根県	0	1	23	56	69	149	0	2	68	79	0	149
33	岡山県	0	3	47	163	225	438	0	8	116	309	5	438
34	広島県	0	3	41	197	319	560	1	12	225	322	0	560
35	山口県	0	0	24	99	141	264	0	6	74	184	0	264
36	徳島県	0	0	17	65	87	169	1	11	57	98	2	169
37	香川県	0	0	21	65	105	191	0	8	82	101	0	191
38	愛媛県	0	3	42	98	164	307	0	10	73	224	0	307
39	高知県	0	1	19	83	113	216	0	16	45	154	1	216
40	福岡県	0	6	83	345	431	865	0	11	420	417	17	865
41	佐賀県	0	2	34	69	84	189	1	2	61	114	11	189
42	長崎県	0	1	25	107	179	312	0	8	122	182	0	312
43	熊本県	0	2	53	162	242	459	1	7	184	267	0	459
44	大分県	0	2	21	85	133	241	0	9	104	128	0	241
45	宮崎県	0	4	48	115	146	313	0	3	86	224	0	313
46	鹿児島県	0	1	61	212	237	511	1	9	196	305	0	511
47	沖縄県	0	3	77	193	141	414	1	12	93	308	0	414
合 計【人】		0	124	2,101	6,737	8,340	17,302	14	331	5,471	11,411	75	17,302
割 合		0.0%	0.7%	12.1%	38.9%	48.2%	100.0%	0.1%	1.9%	31.6%	66.0%	0.4%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

熱中症による救急搬送状況(平成29年8月)
「都道府県別の発生場所別救急搬送人員数」

都道府県		平成29年8月1日～8月31日								
		発生場所ごとの項目(人)								
		住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	合計
1	北海道	33	12	5	3	4	27	13	11	108
2	青森県	14	1	1	2	1	4	6	1	30
3	岩手県	22	4	4	0	4	11	7	5	57
4	宮城県	28	16	8	17	6	11	8	4	98
5	秋田県	39	7	9	7	5	14	10	4	95
6	山形県	45	5	5	9	9	13	10	7	103
7	福島県	66	33	4	10	8	32	21	22	196
8	茨城県	117	46	7	24	28	41	34	21	318
9	栃木県	81	31	10	4	9	27	18	7	187
10	群馬県	82	33	7	9	22	44	33	11	241
11	埼玉県	305	106	7	54	70	84	123	39	788
12	千葉県	246	110	25	36	57	116	101	54	745
13	東京都	370	104	6	43	156	149	206	11	1,045
14	神奈川県	270	131	11	60	73	92	131	42	810
15	新潟県	143	46	6	6	16	53	49	32	351
16	富山県	31	7	0	5	18	19	19	10	109
17	石川県	56	22	12	4	16	41	12	15	178
18	福井県	41	11	6	3	5	32	10	13	121
19	山梨県	41	13	2	3	10	26	6	6	107
20	長野県	99	21	2	6	10	32	21	19	210
21	岐阜県	108	45	6	7	21	63	40	25	315
22	静岡県	150	85	19	31	25	84	55	32	481
23	愛知県	332	189	21	75	80	120	171	40	1,028
24	三重県	115	34	9	11	16	35	52	34	306
25	滋賀県	85	26	7	19	21	28	18	8	212
26	京都府	182	40	2	42	67	34	105	29	501
27	大阪府	460	133	7	58	156	144	282	71	1,311
28	兵庫県	403	98	8	49	69	144	170	65	1,006
29	奈良県	116	20	7	20	17	40	45	12	277
30	和歌山県	90	36	11	9	14	26	27	24	237
31	鳥取県	44	8	5	9	7	32	15	13	133
32	島根県	57	12	7	13	11	21	13	15	149
33	岡山県	177	61	11	14	40	36	59	40	438
34	広島県	246	54	10	15	57	47	59	72	560
35	山口県	103	55	4	7	18	22	39	16	264
36	徳島県	71	22	8	6	13	24	17	8	169
37	香川県	81	24	8	8	18	18	27	7	191
38	愛媛県	88	41	8	11	55	65	31	8	307
39	高知県	81	17	17	9	12	19	35	26	216
40	福岡県	339	123	20	45	75	75	133	55	865
41	佐賀県	58	26	19	24	14	29	12	7	189
42	長崎県	131	35	22	7	23	42	29	23	312
43	熊本県	188	63	17	26	29	43	58	35	459
44	大分県	110	19	10	4	20	34	19	25	241
45	宮崎県	127	46	18	16	18	37	28	23	313
46	鹿児島県	204	78	28	13	30	66	39	53	511
47	沖縄県	125	50	9	42	39	81	37	31	414
合計【人】		6,400	2,199	455	895	1,492	2,277	2,453	1,131	17,302
割合		37.0%	12.7%	2.6%	5.2%	8.6%	13.2%	14.2%	6.5%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料6-1

熱中症による救急搬送状況(平成29年8月)

「日別の年齢区分別、初診時における傷病程度別救急搬送人員数」

日付	曜日	熱中症 救急搬 送人員 数(人)	年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
			新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
8月1日	火	793	0	4	94	270	425	793	0	20	257	511	5	793
8月2日	水	498	0	5	54	166	273	498	0	13	166	317	2	498
8月3日	木	479	0	2	47	144	286	479	2	8	176	293	0	479
8月4日	金	665	0	9	54	243	359	665	1	16	220	425	3	665
8月5日	土	1,013	0	11	169	397	436	1,013	2	19	267	720	5	1,013
8月6日	日	1,197	0	7	181	469	540	1,197	4	24	328	838	3	1,197
8月7日	月	602	0	5	70	198	329	602	0	14	245	342	1	602
8月8日	火	659	0	3	93	238	325	659	1	7	224	421	6	659
8月9日	水	1,025	0	10	125	447	443	1,025	1	27	338	655	4	1,025
8月10日	木	823	0	3	106	351	363	823	0	7	247	562	7	823
8月11日	金	567	0	4	84	181	298	567	0	9	164	393	1	567
8月12日	土	383	0	3	41	128	211	383	1	5	125	251	1	383
8月13日	日	410	0	3	46	129	232	410	0	9	106	292	3	410
8月14日	月	217	0	1	24	75	117	217	0	1	73	143	0	217
8月15日	火	136	0	1	5	48	82	136	0	3	46	87	0	136
8月16日	水	265	0	2	38	105	120	265	0	6	86	173	0	265
8月17日	木	537	0	5	66	263	203	537	0	11	144	379	3	537
8月18日	金	491	0	4	45	265	177	491	0	7	164	318	2	491
8月19日	土	670	0	3	120	311	236	670	0	13	164	490	3	670
8月20日	日	480	0	8	75	156	241	480	0	5	134	337	4	480
8月21日	月	482	0	2	52	175	253	482	0	8	149	324	1	482
8月22日	火	592	0	1	49	268	274	592	0	9	190	391	2	592
8月23日	水	822	0	4	74	368	376	822	1	14	269	537	1	822
8月24日	木	856	0	6	73	340	437	856	0	16	313	523	4	856
8月25日	金	733	0	2	84	314	333	733	0	15	258	454	6	733
8月26日	土	397	0	4	64	164	165	397	0	11	112	273	1	397
8月27日	日	329	0	4	41	105	179	329	0	5	96	227	1	329
8月28日	月	250	0	2	22	80	146	250	1	8	95	146	0	250
8月29日	火	473	0	3	49	178	243	473	0	7	161	304	1	473
8月30日	水	332	0	3	29	127	173	332	0	11	118	202	1	332
8月31日	木	126	0	0	27	34	65	126	0	3	36	83	4	126
計		17,302	0	124	2,101	6,737	8,340	17,302	14	331	5,471	11,411	75	17,302
熱中症の救急搬送人員数に対する割合			0.0%	0.7%	12.1%	38.9%	48.2%	100.0%	0.1%	1.9%	31.6%	66.0%	0.4%	100.0%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

熱中症による救急搬送状況(平成29年8月) 「日別の発生場所別救急搬送人員数」

日付	曜日	熱中症 救急搬送 人員数(人)	発生場所ごとの項目(人)							
			住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他
8月1日	火	793	303	127	26	48	63	70	115	41
8月2日	水	498	223	57	13	23	43	35	74	30
8月3日	木	479	212	50	8	25	39	42	71	32
8月4日	金	665	261	82	19	29	69	63	97	45
8月5日	土	1,013	327	78	21	58	81	226	144	78
8月6日	日	1,197	407	48	22	73	117	266	158	106
8月7日	月	602	293	73	10	31	45	60	63	27
8月8日	火	659	287	75	21	41	58	56	84	37
8月9日	水	1,025	321	198	33	50	95	123	154	51
8月10日	木	823	302	149	24	38	65	91	117	37
8月11日	金	567	228	35	13	21	58	102	71	39
8月12日	土	383	176	27	9	8	33	62	51	17
8月13日	日	410	184	15	3	11	42	59	62	34
8月14日	月	217	112	13	1	3	25	27	28	8
8月15日	火	136	75	10	3	6	10	7	19	6
8月16日	水	265	106	18	6	16	23	42	39	15
8月17日	木	537	154	116	21	40	33	52	73	48
8月18日	金	491	150	118	15	28	36	49	62	33
8月19日	土	670	186	109	25	49	66	116	74	45
8月20日	日	480	172	12	20	28	42	100	61	45
8月21日	月	482	180	73	9	24	44	39	79	34
8月22日	火	592	200	130	10	27	34	64	85	42
8月23日	水	822	273	159	17	31	61	87	131	63
8月24日	木	856	287	138	27	31	77	87	146	63
8月25日	金	733	251	113	24	45	69	77	121	33
8月26日	土	397	140	30	8	20	45	76	51	27
8月27日	日	329	121	6	8	13	31	79	52	19
8月28日	月	250	106	22	8	5	19	29	39	22
8月29日	火	473	188	68	12	31	37	43	68	26
8月30日	水	332	127	44	15	15	24	39	43	25
8月31日	木	126	48	6	4	27	8	9	21	3
計		17,302	6,400	2,199	455	895	1,492	2,277	2,453	1,131
熱中症の救急搬送人員数に 対する割合			37.0%	12.7%	2.6%	5.2%	8.6%	13.2%	14.2%	6.5%

※端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

資料7

熱中症による救急搬送状況(平成29年8月)
「都道府県別人口10万人当たりの救急搬送人員数」

都道府県	8月1日～8月31日			昨年比(倍)	
	平成29年熱中症 救急搬送人員数 (人)	人口10万人当たりの 救急搬送人員数(人)	平成28年熱中症 救急搬送人員数 (人)		
1	北海道	108	2.01	485	0.2
2	青森県	30	2.29	221	0.1
3	岩手県	57	4.45	212	0.3
4	宮城県	98	4.20	341	0.3
5	秋田県	95	9.29	250	0.4
6	山形県	103	9.16	177	0.6
7	福島県	196	10.24	332	0.6
8	茨城県	318	10.90	460	0.7
9	栃木県	187	9.47	215	0.9
10	群馬県	241	12.21	335	0.7
11	埼玉県	788	10.84	1,024	0.8
12	千葉県	745	11.97	737	1.0
13	東京都	1,045	7.73	1,173	0.9
14	神奈川県	810	8.88	857	0.9
15	新潟県	351	15.23	464	0.8
16	富山県	109	10.22	154	0.7
17	石川県	178	15.42	210	0.8
18	福井県	121	15.38	133	0.9
19	山梨県	107	12.82	108	1.0
20	長野県	210	10.01	263	0.8
21	岐阜県	315	15.50	331	1.0
22	静岡県	481	13.00	540	0.9
23	愛知県	1,028	13.74	1,267	0.8
24	三重県	306	16.85	337	0.9
25	滋賀県	212	15.00	260	0.8
26	京都府	501	19.19	656	0.8
27	大阪府	1,311	14.83	1,509	0.9
28	兵庫県	1,006	18.18	1,185	0.8
29	奈良県	277	20.30	303	0.9
30	和歌山県	237	24.60	274	0.9
31	鳥取県	133	23.19	133	1.0
32	島根県	149	21.46	145	1.0
33	岡山県	438	22.79	600	0.7
34	広島県	560	19.69	647	0.9
35	山口県	264	18.79	354	0.7
36	徳島県	169	22.36	171	1.0
37	香川県	191	19.56	219	0.9
38	愛媛県	307	22.16	328	0.9
39	高知県	216	29.66	208	1.0
40	福岡県	865	16.96	943	0.9
41	佐賀県	189	22.69	211	0.9
42	長崎県	312	22.65	435	0.7
43	熊本県	459	25.70	697	0.7
44	大分県	241	20.66	301	0.8
45	宮崎県	313	28.35	315	1.0
46	鹿児島県	511	31.00	593	0.9
47	沖縄県	414	28.88	270	1.5
合計		17,302	13.61	21,383	0.8

※「人口10万人当たりの救急搬送人員数(人)」は、平成27年国勢調査の各都道府県人口を基に算出しています。

資料8

平成23年～29年の熱中症による 救急搬送人員数及び死亡者数一覧

(単位:人)

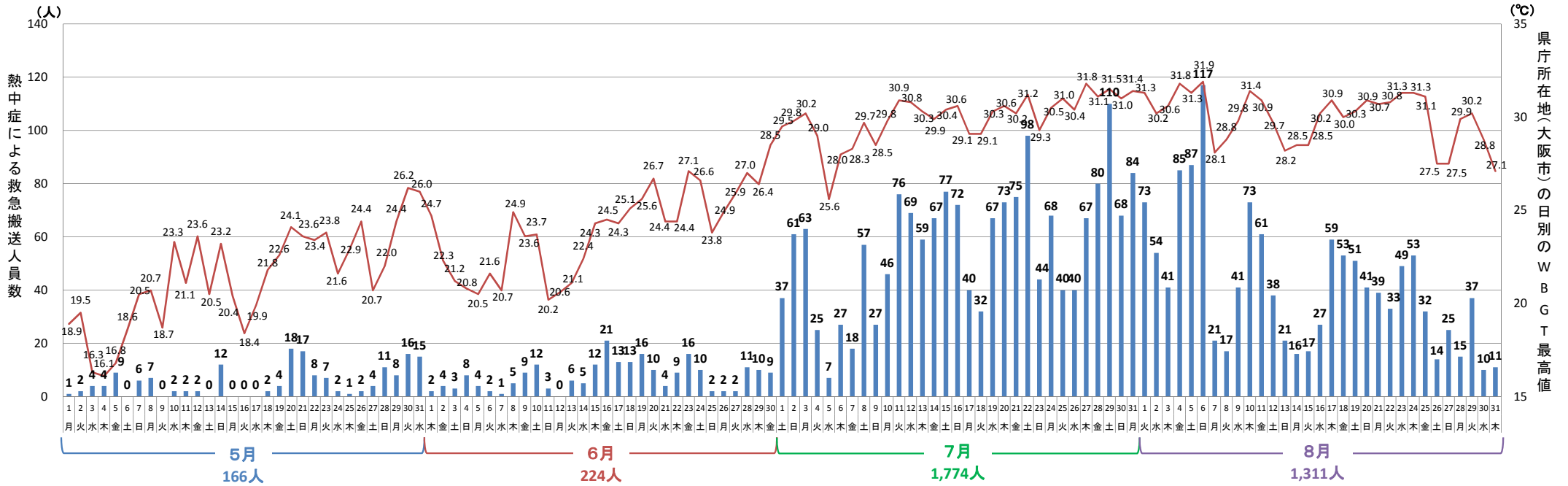
		平成29年(2017)		平成28年(2016)		平成27年(2015)		平成26年(2014)		平成25年(2013)		平成24年(2012)		平成23年(2011)	
		搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡	搬送人員	死亡
確定値	5月	3,401	2	2,788	1	2,904	3	調査データなし							
	6月	3,481	1	3,558	3	3,032	2	4,634	6	4,265	4	1,837	3	6,980	14
	7月	26,702	31	18,671	29	24,567	39	18,407	31	23,699	27	21,082	37	17,963	29
	8月	17,302	14	21,383	24	23,925	60	15,183	15	27,632	57	18,573	35	17,566	27
	9月	△	△	4,012	2	1,424	1	1,824	3	3,133	0	4,209	1	3,960	3
5月から8月までの搬送人員数合計(同時期比較)		50,886	48	46,400	57	54,428	104	△	△	△	△	△	△	△	△
搬送人員数合計		50,886	48	50,412	59	55,852	105	40,048	55	58,729	88	45,701	76	46,469	73

※平成29年は5月1日から調査を開始

(参考) 梅雨明けの時期

	平成29年(2017)	平成28年(2016)	平成27年(2015)	平成26年(2014)	平成25年(2013)	平成24年(2012)	平成23年(2011)	(平年)
沖縄	6月22日ごろ	6月16日ごろ	6月11日ごろ	6月26日ごろ	6月11日ごろ	6月23日ごろ	6月9日ごろ	6月23日ごろ
九州	7月13日ごろ	7月18日ごろ	7月17～29日ごろ	7月16～20日ごろ	7月8日ごろ	7月23日ごろ	7月8日ごろ	7月14～19日ごろ
中国・四国	7月13日ごろ	7月18日ごろ	7月20～24日ごろ	7月20日ごろ	7月8日ごろ	7月17日ごろ	7月8日ごろ	7月18～21日ごろ
近畿・東海	7月13～15日ごろ	7月18～28日ごろ	7月20日ごろ	7月20～21日ごろ	7月7～8日ごろ	7月16～23日ごろ	7月8日ごろ	7月21日ごろ
関東甲信	7月6日ごろ	7月29日ごろ	7月19日ごろ	7月21日ごろ	7月6日ごろ	7月25日ごろ	7月9日ごろ	7月21日ごろ
北陸	8月2日ごろ	7月19日ごろ	7月21日ごろ	7月21日ごろ	8月7日ごろ	7月26日ごろ	7月8日ごろ	7月24日ごろ
東北	特定しない	7月29日ごろ	7月26～29日ごろ	7月25日ごろ	8月7～10日ごろ	7月26日ごろ	7月9日ごろ	7月25～28日ごろ

大阪府



【参考】

- 暑さ指数(WBGT(湿球黒球温度): Wet Bulb Globe Temperature)とは、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数は(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射など周囲の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。
- 暑さ指数(WBGT)の温度基準、注意すべき生活活動の目安、注意事項(右図)環境省HPより抜粋
- 環境省熱中症予防情報サイト <http://www.wbgt.env.go.jp/>

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28~31℃※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28℃※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※ (28~31℃) 及び (25~28℃) については、それぞれ28℃以上31℃未満、25℃以上28℃未満を示します。
日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より